

2008年12月15日  
住電日立ケーブル株式会社  
トヨクニ電線株式会社

縦幹線接続を容易にした幹線分割型 6600V 分岐付ケーブル  
「高圧モジュールブランチ(6600 HMB)」を開発、販売開始

トヨクニ電線株式会社(本社:東京都豊島区, 取締役社長 猪口洋志)は、ビル内の電力供給を行う高圧配線の縦幹線接続を容易にした新しいタイプの幹線分割型 6600V 分岐付ケーブルの開発を行い(特許出願済み)、本年 11 月より住電日立ケーブル株式会社(本社:東京都台東区, 代表取締役社長 戎谷正男)から「高圧モジュールブランチ(6600 HMB)」として発売致しました。

**【開発の背景】**

最近のインテリジェントビル等の高圧配電は、大型化、高機能化が進み、電力需要が増大しており、経済性、信頼性の観点から、ビル内の電力供給に、6600V の高圧分岐ケーブルの採用が増えています。

一方、建設は、タクト工法が主流となっており、従来の布設方法では、建物の躯体完成後に最上階までケーブルを一気に引き上げるか、垂直部で幹線接続を行う場合には幹線ケーブルの接続部に張力が加わらないように水平部を設け現場接続するか、垂直部で接続可能な専用部材を使用し現場接続を行う方法が採用されています。

そこで、垂直部において幹線ケーブルを容易に縦接続できる製品を開発することにより、建設現場の進捗に応じてケーブルを分割布設することができ、工期短縮や省力化施工が可能になるものと考え、縦幹線の接続を容易にした幹線分割型 6600V 分岐付ケーブルの開発を進めて参りました。

**【主な特長】**

「高圧モジュールブランチ(6600 HMB)」は、6600V 分岐付ケーブルを数階分(10階分程度)に分割し、この分割したケーブル端に、縦接続用に新開発した接続装置を取り付けてモジュール化した製品で、主な特長は次の通りです。

- ① 新開発の接続装置
  - ・ 幹線ケーブル相互の直線接続と幹線相互接続と同時に分岐接続も可能は2種類の接続装置をラインナップ
- ② 布設工期が大幅短縮
  - ・ 建物の仕上がりに応じてモジュール単位で順次布設が可能
  - ・ プラグイン方式で接続が容易
- ③ 高信頼性
  - ・ 接続装置を取り付けたモジュールは、品質管理の行き届いた工場で作成
- ④ 省スペース
  - ・ ケーブルラックに取付板を介してコンパクトに直線接続部を取り付けられる
  - ・ 短条長によるモジュール化により、小型ドラムで搬入、途中階での引き回しが不要
- ⑤ 保守点検が容易
  - ・ 将来のシステム変更や拡張が容易
  - ・ 配線したケーブルに傷害が発生した場合、障害部分のケーブルを部分的に取替可能
  - ・ 検電装置により低圧検電器で停電の有無を確認でき、保守点検が容易

**【製品ラインアップ】**

●接続装置仕様

- ① モジュール直線接続装置(直線型)  
直線接続のみできるタイプ
- ② モジュール分岐接続装置(分岐型)  
直線接続の他に分岐線を接続  
できるタイプ



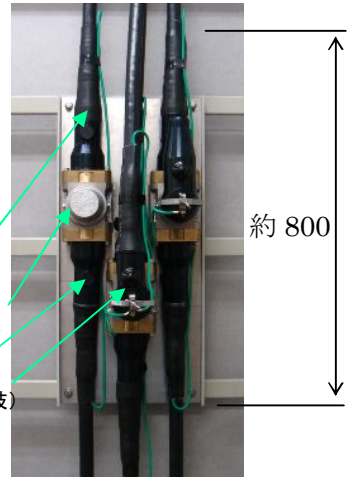
直線接続装置

直線接続装置

- ①上側端末
- ②(相互)接続装置
- ③下側端末

分岐接続装置

- ①上側端末
- ②(相互)接続装置
- ③下側端末
- ④L型コネクタ(分岐)



分岐接続装置

●ケーブル仕様

項目	適用品種, サイズ	
適用ケーブル品種	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6600V CV ケーブル (架橋ポリエチレン絶縁ビニルシースケーブル)</li> <li>・EM 6600V CE/F ケーブル (架橋ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル)</li> <li>・6600V NH-CE ケーブル (架橋ポリエチレン絶縁ノンハロゲン高難燃シースケーブル)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6600V EM-FP ケーブル (耐火ケーブル)</li> <li>・6600V NH-FP ケーブル (高難燃ノンハロゲン耐火ケーブル)</li> </ul>
幹線導体サイズ	60～325 mm <sup>2</sup>	60～250 mm <sup>2</sup>
分岐線導体サイズ	38～250mm <sup>2</sup>	38～200 mm <sup>2</sup>

**【本件に関するお問い合わせ先】**

●報道関係者殿

住電日立ケーブル株式会社 営業企画  
トクニ電線株式会社 総務部 総務グループ

TEL 03-5827-4783  
TEL 03-3985-7511

以上